

環境保全行動  
自動車使用管理実施 報告提出書

2024年 4月 24日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒065-0042 北海道札幌市東区本町2条4丁目8番20号
氏名	社会医療法人社団 三草会
(代表者名)	理事長 石橋 輝雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動  
第23条第3項の規定により、自動車使用管理実施  
報告書を提出します。

報告期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日								
事業の規模	従業員数	448	人	原油換算した	958.3	kl			
	使用床面積	15294	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量					
	事業所数	2	事業所	自動車使用台数		台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	2290	t-CO <sub>2</sub>	メタン	t-CO <sub>2</sub>	N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	HFC
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			t-CO <sub>2</sub>	PFC	t-CO <sub>2</sub>	SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>	NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>
報告書の担当部署	担当部署名								
	担当者氏名								
	電話/FAX								
	電子メールアドレス								
計画書提出根拠	条例第13条 (環境保全行動計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項							
	条例第23条 (自動車使用管理計画)	<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項							
計画期間	2022年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日								
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり								
備考									

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2023年 4月 1日～ 2024年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	2370000	1	2360000	0	△	2290000	3	○			
	kg	%	kg	%		kg	%				
紙使用量の削減	14005	1	22714	▲62	×	23017	▲64	×			
	kg	%	kg	%		kg	%				
水使用量の削減	49282	1	43439	12	○	42556	14	○			
	m	%	m	%		m	%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	各部署に削減行動を周知・実施してもらい、削減実現。
紙使用量の削減	×	使用量は廃棄量をもとに算出しており、分別方法が変わったことにより、紙媒体の廃棄量が増加。結果として、使用量も増加傾向。
水使用量の削減	○	節水行動の他、入院患者の減少に伴い削減実現。